

東京八王子ビートルレインズ再建4年目を迎えて

2020年3月に経営不振で苦しむ東京八王子ビートルレインズの再建を引き受けてから、3年以上が経過しました。厳しい道のりは覚悟の上でしたが、これまで経験したことのないプロバスケットボールチームの経営は、一筋縄ではいかないことばかりでした。それでも地道に歩み続けて4年目を迎えることができました。今回はビートルレインズの近況と、この1年で感じたことをお伝えします。

チームの再建を任されたときに抱えていた負債はまだ残っていますが、単年で1億円もの赤字計上をしていた状況から、3年連続黒字で今シーズンを迎えることができました。これはいつも応援してくださるスポンサー様、ファンクラブの皆様、ブースターの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

125社からスタートしたスポンサー様は、今では325社。コロナ禍でも大変多くの方に試合観戦にお越しいただき、来場者数も右肩上がりでも伸び続けています。元の飲食店では、お客様同士でビートルレインズの話をしている場面が増えてきていると、嬉しいご報告もいただいています。

昨シーズンは、より地域に愛されるチームを目指し、ハーフタイムショーでは地域のダンスチームにパフォーマンスをいただいたり、八王子桑志高等学校の生徒が主体となってプロデュースした試合を開催したりしました。市内の学校への出前授業は52校に訪問。「八王子観光PR特使」にも認定していただき、八王子のPRにも微

力ながら貢献しています。

(株)リンクス・ビルド様のご協力もあり、カナダ発祥のいじめ反対運動「ピンクシャツデー」をプロバスケットボールチームで初めて開催しました。3月3日、4日の試合でピンクシャツを販売しました。この売上の一部を使い、八王子市の小中学生がテーマに沿って議論する「はちおうじっ子サミット」にてピンクシャツを108校の代表生徒にプレゼントしました。今回のテーマが「いじめ防止」だったこともあり、八王子の教育長にも喜んでいただきました。4年ぶりに開催された八王子まつりでは約9400枚のうちわを選手が配布。来場した方にとっても喜んでいただきました。八王子花火大会の翌日には早朝5時からおこなわれているごみ拾いにも、数名の選手が参加しました。

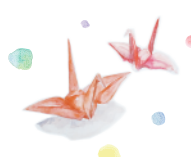
今

シーズンはより強固なチームを作るために、人間学を学ぶ月刊誌『致知』を使った木鶏会を全選手とフロントスタッフで実施。外国籍の選手にも英訳した

文章を渡して参加してもらいました。プロスポーツチームでは、選手も含めて木鶏会を実施しているチームはビートルレインズだけ。選手も前向きに取り組んでおり、中には用紙の裏までびっしり感想文を書いてくる選手までいて感動しました。

発表した感想の良いところをとにかく褒める「美点凝視」が木鶏会の特徴です。参加している選手やスタッフの顔がみるみるうちに笑顔になっていくのが印象的でした。選手は、木鶏会を通して読書する力、感想を書く力、話を聴く力、考える力、褒める力が身につくので、セカンドキャリアにも必ず役に立つと確信しています。

昨シーズンは期待に応えることができませんでした。今年には組織を一から見直し、外国籍選手も良い補強ができたと思っています。日本人選手のまともにも素晴らしく、今年こそは昨シーズン果たせなかつたプレーオフ進出を目指して戦います。(個人的には優勝を目指しています!)皆様の期待に応えられるように全力で戦いますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。